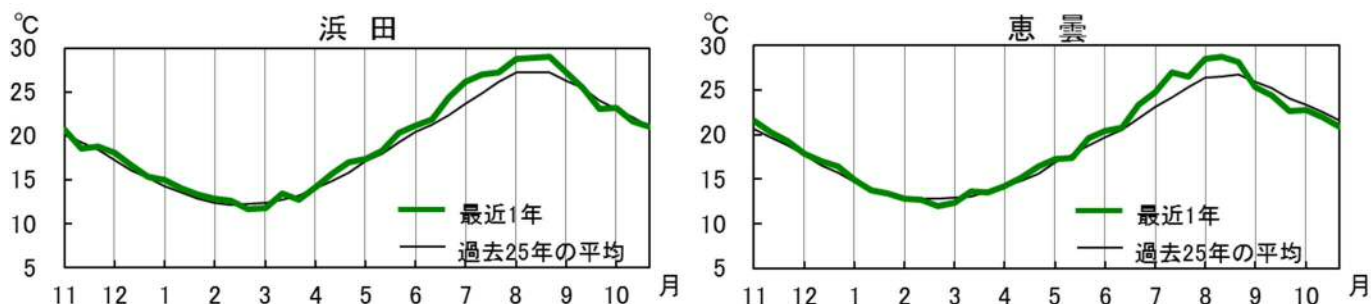




《10月の海況》



10月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	22.0°C	-0.1°C	やや低め	21.9°C	-0.6°C
中旬	平年並み			平年並み		
下旬	平年並み			やや低め		



《10月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の1.2倍、マアジは平年の6割でした。隠岐地区ではマアジ、ブリ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は34.9トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは1,191トンで平年の2.0倍、ブリは696トンで平年の7割、サバ類は692トンで平年の1.3倍となりました。例年漁獲量の多いマイワシは175トンで平年の1割未満となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の54%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は89.8kgで平年並みでした。西郷地区(属人5トン以上)ではケンサキイカ(全体の95%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は40.7kgで平年並みでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、アナゴ・ハモ類、マトウダイを主体に、1統1航海当たりの漁獲量は15.1トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の2.7倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.1倍、マトウダイは平年の2.5倍でした。その他、アマダイ類は平年の3.0倍、マダイは平年の2.4倍、アカムツは平年の1.2倍と好調であった一方、ムシガレイおよびスルメイカは平年の7割、アンコウ類およびケンサキイカは平年の5割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、アンコウ類、スルメイカ主体の漁況で、総漁獲量は361トンでした。1統1航海当りの漁獲量は865kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の1.0倍、アンコウ類は平年の1.2倍、スルメイカは平年の1.9倍でした。その他、イトヨリダイは平年の2.0倍と好調でしたが、マトウダイおよびアカムツは平年の1.0倍、ニギスおよびヤリイカは平年の9割、アナゴ・ハモ類およびキダイは平年の8割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、マアジ、サワラ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は58.4トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の3.0倍、マアジは平年の2.0倍、サワラ類は平年の1.1倍でした。石見地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は42.4トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の3.4倍、マアジは平年の1.3倍でした。隠岐地区ではブリ、マアジ、ウルメイワシ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は19.0トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の2.4倍、マアジは平年の2.6倍、ウルメイワシは平年の9割でした。

【釣・縄】

出雲地区ではサワラ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21.1kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の1.2倍でした。石見地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.6kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.5倍でした。隠岐地区では、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は30.9kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の11.8倍でした。

【令和4年10月の漁獲統計】 ※令和4年4月号から漁模様（◎、○、▲）の記載はありません。

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マアジ、ブリ、サバ類	3,488トン	64%	62%	34.9トン	91%	75%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	4.8トン	116%	33%	89.8kg	204%	123%
	西郷	ケンサキイカ	1.2トン	52%	28%	40.7kg	72%	75%
沖合 底びき網	浜田	キダイ、アナゴ・ハモ類、マトウダイ	302トン	118%	108%	15.1トン	118%	111%
小型 底びき網	大田	ソウハチ、アンコウ類、スルメイカ	361トン	98%	89%	865kg	97%	101%
定置網 (大型)	出雲	サバ類、マアジ、サワラ類	642トン	122%	156%	58.4トン	144%	184%
	石見	サバ類、マアジ	170トン	110%	167%	42.4トン	110%	163%
	隠岐	ブリ、マアジ、ウルメイワシ	57.0トン	126%	120%	19.0トン	126%	120%
釣り・縄	出雲	サワラ類	24.0トン	116%	70%	21.1kg	112%	83%
	石見	ブリ	23.6トン	72%	76%	19.6kg	99%	99%
	隠岐	ブリ	29.3トン	182%	113%	30.9kg	179%	139%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ